

令和 6 年県民意識調査結果報告書

【概要版】

令和 7 年 3 月
宮 城 県

目 次

I 調査の概要	2
1 調査の趣旨	2
2 調査の実施状況	2
3 調査結果の見方	3
II 調査結果	4
1 新・宮城の将来ビジョンについて	4
(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	4
(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	6
(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	8
(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	10
(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	12
(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	14
(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	16
(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	18
2 テーマ別項目	22
(1) 暮らしの満足度について	22
(2) 防災意識について	28
(3) 宮城県の復旧・復興の進捗状況について	29
(4) デジタル・トランスフォーメーション（DX）について	31
(5) 宮城県の地域公共交通について	34
(6) 犯罪被害者等支援について	37
(7) アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞（人生会議）について	39
(8) 宮城県の治安について	42
III 参考資料	44
回答者属性一覧	44

I 調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また今後どのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や事業の企画立案などに活用します。

2 調査の実施状況

①調査対象

宮城県に居住する 18 歳以上の方 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

②調査方法

郵送配布、郵送・インターネット・デジタル身分証アプリ(ポケットサイン)による回答

③調査期間

令和 6 年 11 月 22 日（金）から令和 6 年 12 月 20 日（金）まで

④調査項目

- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 政策の重視度、満足度等に関する項目
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目
- このほか、テーマ別項目の調査を実施

⑤回収結果

- 回収数 1,681 件 有効回答数 1,673 件
- 回収率 42.0% 有効回答率 41.8%
- 有効回答の構成比
 - ・ 郵送回答数 1,408 件（84.2%）
 - ・ インターネット回答 244 件（14.6%）
 - ・ デジタル身分証アプリ回答 21 件（1.3%）

(5) 宮城県の地域公共交通について

調査結果の概要

【地域の公共交通の利用頻度】

○県全体で、「地域の公共交通の利用頻度」について、「ほとんど利用しない（71.3%）」が最も多く、次いで「1年に数日（16.4%）」、「1か月に数日（8.0%）」の順となっています。

【地域の公共交通の主な利用目的】

○県全体で、「地域の公共交通の主な利用目的」について、「買い物（39.1%）」が最も多く、次いで「通院（13.7%）」、「通勤（11.9%）」の順となっています。

○一方で、「その他」と回答している割合は 33.1%と 2 番目に回答が多くなっており、「飲酒時や行楽の際に利用する」といった主旨の意見がみられます。

【利用している地域の公共交通の種類】

○県全体で、「利用している地域の公共交通の種類」について、「1 鉄道・地下鉄・BRT（58.4%）」が最も多く、次いで「2 高速バス（24.7%）」、「3 路線バス（19.8%）」の順となっています。

【地域の公共交通を利用しない理由】

○県全体で、地域の公共交通を「ほとんど利用しない」の回答のうち、「地域の公共交通を利用しない理由」について、回答が最も多かったのは、「最寄りの駅やバス停が遠いため（25.4%）」で、次いで「希望時間帯に運行していないため（17.8%）」、「移動時間を短縮するため（11.4%）」の順となっています。

○一方で、「その他」と回答している割合は 40.5%と最も回答が多くなっており、「自家用車があるから」といった主旨の意見がみられます。

【地域の公共交通を利用しない場合の移動手段】

○県全体で、「地域の公共交通をほとんど利用しない」の回答のうち、「地域の公共交通を利用しない場合の移動手段」について、回答が最も多かったのは、「自家用車（バイク含む）（89.7%）」で、次いで「家族等による送迎（6.1%）」、「自転車（2.0%）」の順となっています。

【地域の公共交通の満足度】

○県全体で、「地域の公共交通の満足度」について、「満足している（7.3%）」又は「どちらかといえば満足している（28.8%）」と回答している割合の合計は、36.1%となっています。

○一方で、「どちらかといえば不満である（35.6%）」又は「不満である（28.3%）」と回答している割合の合計は、63.9%となっています。

【地域の公共交通に対して感じていること】

○県全体で、「地域の公共交通に対して感じていること」について、「1 運行本数が少ない（57.8%）」が最も多く、次いで「2 希望する時間に利用できない（44.1%）」、「5 車と比較して時間がかかる（36.9%）」の順となっています。

図 2 4 地域の公共交通の利用頻度（県全体）

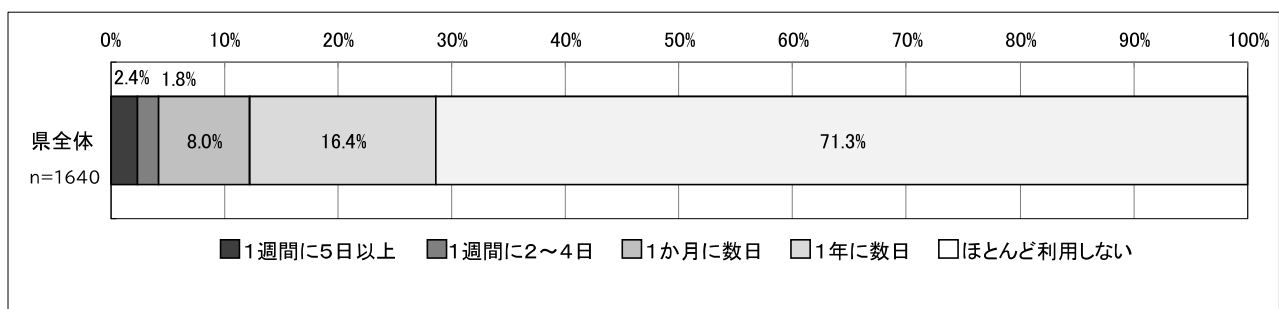


図 2 5 地域の公共交通の主な利用目的 (県全体)

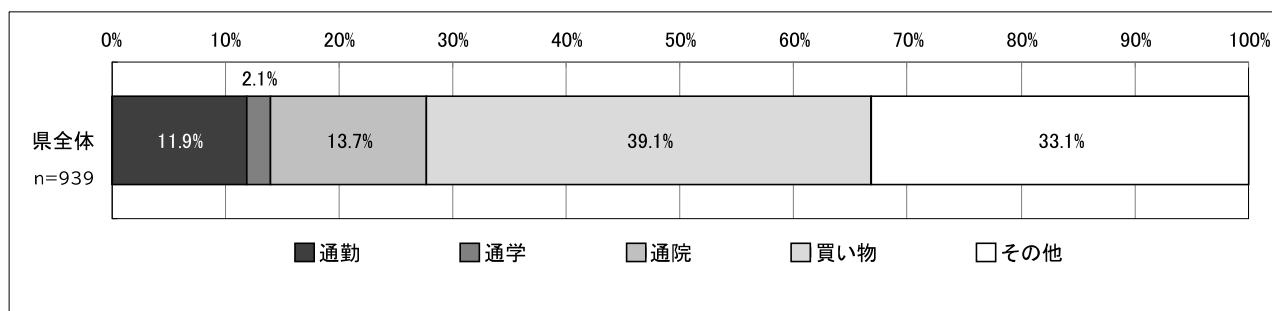
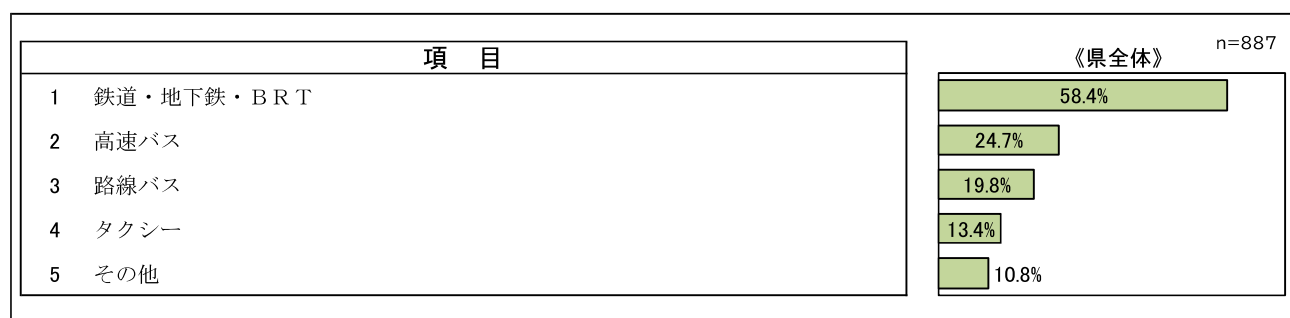


図 2 6 利用している地域の公共交通の種類 (県全体)



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 7 地域の公共交通を利用しない理由 (県全体)

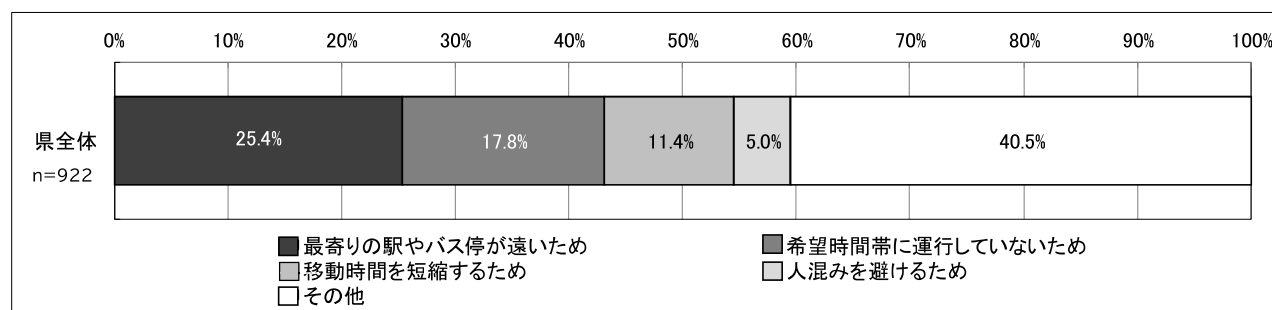


図 2 8 地域の公共交通を利用しない場合の移動手段 (県全体)

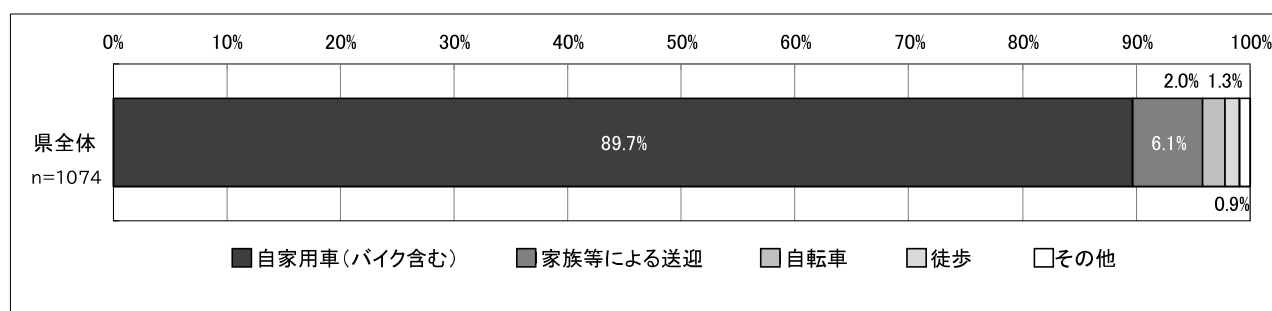


図 2 9 地域の公共交通の満足度 (県全体)

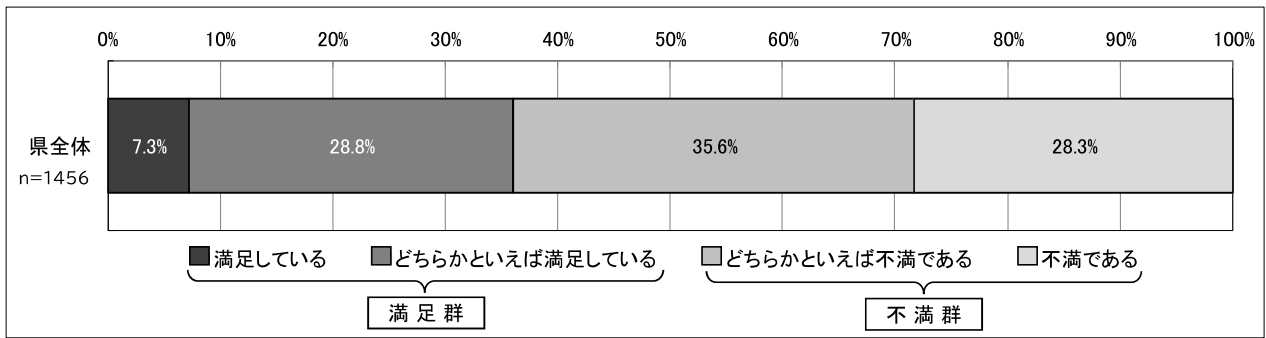
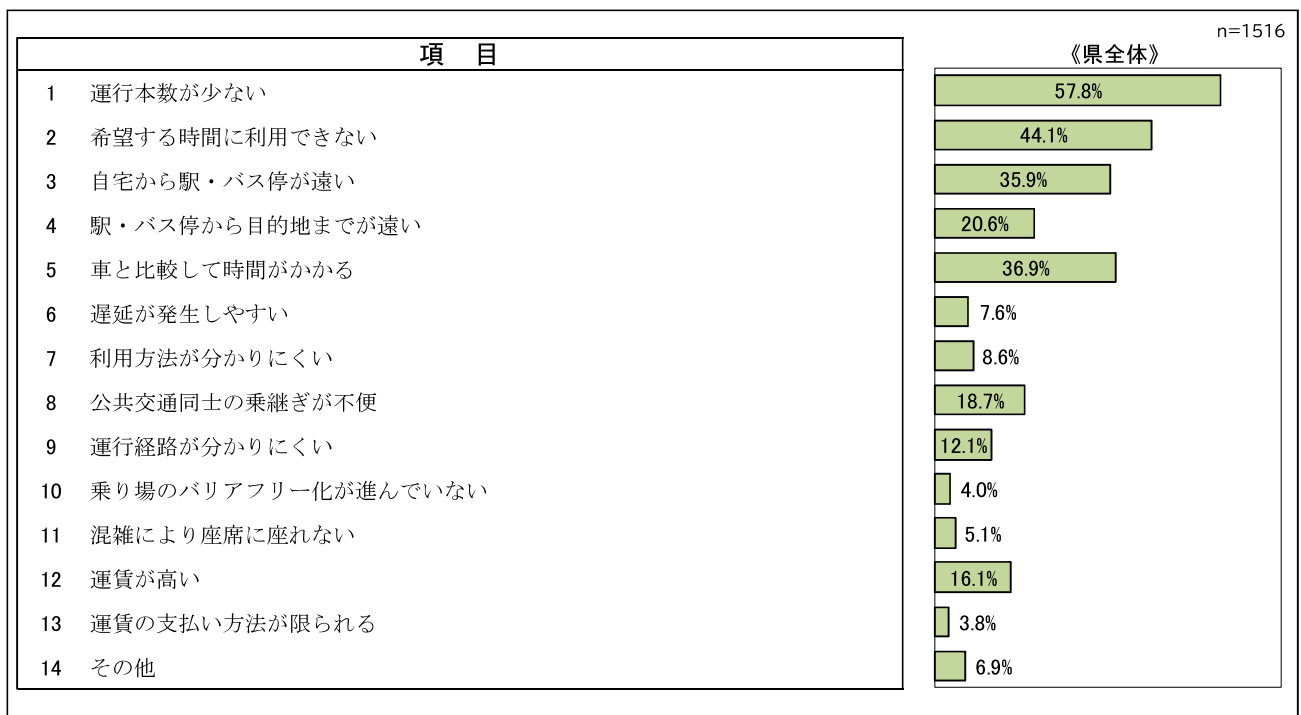


図 3 0 地域の公共交通に対して感じていること (県全体)



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。